



世界に希望を生み出そう

Vol. 62

No. 24

第2895例会  
2024年3月5日号

WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2580地区

# 東京江東ロータリークラブ

2023~2024年度 テーマ

## 世界に希望を生み出そう

ロータリアンの心に火をつけよう Get the Joy of Rotary  
RI 会長 ゴードン R. マッキナリー 地区ガバナー 栃木 一夫

## 伝統と革新

～革新しながら伝統を守ろう～  
クラブ会長 河西 史郎

### 今日の卓話

## 立花 尊顕氏

カンボジア地雷処理と日本の  
国際協力及びパラオ地雷処理

### 次回例会案内

## 東分区5クラブ合同例会

(岡村ガバナー補佐担当クラブ)

【ホストクラブ東京東 RC】

(ホテルニューオータニ)

E-mail : koto.re@sweet.ocn.ne.jp

http://www.koto-rotary.jp

### 例会報告

2月20日(火) 会員数22名中14名  
出席率 66.66%  
訂正出席率 68.18%



### 会長・幹事報告

●22日(木) RYLA セミナー (国際オリンピック記念青少年総合センター)・参加者チャントフォン様・小野会員が参加いたしました。

●28日(水) 29日(木)

#### 【地区大会】

28日(水) 地区大会 1日目【ホストクラブ:東京ベイ RC】帝国ホテル・RI 会長代理歓迎晩餐会及び会長幹事会【3階富士】・河西会長、伊藤海幹事・鈴木会員が参加いたしました。

29日(木) 地区大会 2日目・新入会員昼食会・鈴木会員・大屋会員が参加いたしました。・PHS とメジャードナーの集い・菅澤会員が参加いたしました。・本会議・懇親会に会員皆様参加されました。

●3月1日(金) 米山期間終了式 (池袋自由学園明日館)・チャントフォン様・小嶋会員が参加いたしました。

●5日(火) 通常理事会、被選理事会、例会

●6日(水)※午前:次年度地区連絡会(ホテルエミシア立川)※午後:クラブ会長エレクト研修セミナー【PETS】(ホテルエミシア立川) 大澤会長エレクト、鈴木会員、末次会員、益子会員、が参加されます。

●15日(金) 東分区(岡村ガバナー補佐担当クラブ)5クラブ合同例会【ホストクラブ東京東 RC】(ホテルニューオータニ) 会員参加予定

### <委員会報告・その他>

【回覧】・東京臨海南ロータリークラブ加盟認証状伝達式報告書【配布物】週報 NO.24

次の例会は、3月15日(火)5クラブ合同例会(ニューオータニ)となります。クラブ例会は、3月26日(火)クラブ創立記念例会(昼例会)となっております。欠席される方は、事務局までお知らせください。

### ニコニコボックス



河西会長:吉村さん、卓話宜しくお願ひします。

伊藤(三)君:今日も宜しくお願ひ致します。

鈴木君:吉村英里さん卓話よろしくお願ひします。

鯉淵君:吉村さんよろしくお願ひします。

小嶋君:吉村さん卓話宜しくお願ひ致します。

大澤君:吉村さんようこそ!卓話楽しみにしています!

小野君:吉村さん、本日の卓話楽しみにしております。

岩切さん、阿部さんようこそ!

大木君:吉村英里さん卓話よろしくお願ひします。

大屋君:今日は私の友人の岩切さん、阿部さんをお招きしています。よろしくお願ひします。

堀君:今日もよろしくお願ひします。

藤崎君:吉村さん、よろしくお願ひ致します。

野村君:吉村さんよろしくお願ひ致します。

合計 42,000 円

累計 1,396,000 円



2024年3月のロータリーレポート【1ドル151円】

事務局は午前10時から午後16時まで、囲碁や将棋・談話室として利用できます。掲示板も活用してください

●例会場/東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト21 東京内 TEL:03(5683)5683 ●例会日/毎週火曜日12時30分~13時30分  
●事務局/東京都江東区東陽 6-3-3 ホテルイースト21 東京内 TEL:03(5632)3777 FAX:03(5632)3737



世界に希望を生み出そう

WEEKLY REPORT 東京江東ロータリークラブ 2月20日卓話



# 医療政策の動向および健康経営について

特定非営利活動法人 日本医療政策機構 シニアマネージャー 吉村英里 (元財団グローバル奨学生)



2015年～2016年にRI2580地区代表ロータリー財団グローバル奨学生として、米国カリフォルニア大学サンフランシスコ校グローバルヘルス修士課程へ留学させていただきました。財団奨学金にて、世界の公衆衛生の改善に寄与したいという思い、15年後越しの留学の夢、そしてキャリアチェンジを叶えていただき心より感謝しております。タフな留学で培った経験や友人、RCとの結びつきは、学位以上にかけがえのない豊かな人生の財産となっており、自分のことは二の次にグローバルヘルスの現場に飛び込むヒューマニティ溢れる仲間たちの輪に加わられたことは最大の収穫でした。

留学直後から現在まで籍を置く、日本医療政策機構は非営利、独立、民間、超党派のシンクタンクです。調査研究や国内外・産官学民の専門家間の議論の喚起等を通じて、中立的な立場からの政策提言活動を行っています。その中で、昨今担当している、生活習慣病対策（慢性腎臓病、肥満症）、女性の健康に関してご紹介させていただきます。

生活習慣病はとても身近で、がんを筆頭に日本人の死因の上位を占めています。自覚症状がないことが多く、健診結果をもとに医療機関受診勧奨が行われても、なかなか受診行動に繋がっていない例が見られます。まずは、早期発見のため健診受診を行うことが重要であり、必要に応じて医療機関、保健指導を受けることが大切です。慢性腎臓病（CKD: Chronic Kidney Disease）は日本の成人 8 人に 1 人が罹患しているといわれ、自覚症状がないことから、気づいたときには重症化し、透析治療を受けることになります。透析は、身体的な負担の大きさのみならず、一人当たり約 500 万円前後の医療費負担を社会全体で支える必要があることから、その手前の慢性腎臓病の段階で、早期発見・早期介入、重症化を予防すべく、行政、医療、企業、患者等が丸ごと取り組む必要があります。特に、適切な医療を患者に届けるためには、地域で診療するかかりつけ医の理解向上が求められ、慢性腎臓病診療ガイドラインの浸透・頒布が期待されます。

また、肥満症も新しい疾患として注目されており、その患者

は日本でも増加傾向にあります。肥満症は、BMI (Body Mass Index) が 25 以上かつ健康障害のある人と定義されており、BMI25 以上でも健康障害のない肥満とは区別されます。外科手術、服薬、運動療法、栄養療法、認知行動療法の 5 つが主な治療方法です。一方で、社会全体や肥満症当事者自身が持つ肥満・肥満症への偏見・スティグマが課題であり医療に繋がらない理由の一つでもあります。肥満症の定義や治療方法に関する認識を広めるとともに、医療介入の有無に関わらず人間の本来の活動である運動・栄養面への支援を強化する必要があり、包括的な対策の検討が求められます。

女性活躍推進が言われて久しいですが、女性の健康増進も併せて行うべきです。月経前症候群や月経随伴症状、更年期障害によって日々の生活に困難をきたしている女性は約 8 割、仕事のパフォーマンスも元気な時に比べて半分以下に落ち込む女性が約半数という調査データがあります。これら女性特有の体調不良による欠勤（病欠）は、日本全体で 3,628 億円の経済的損失を生んでいます。女性の健康は個人の課題ではなく、社会の課題であるともいえることから、社内セミナーを開催するなど啓発活動を通じて、男女共に理解、認識を深めることが必要です。

最後に、昨今、多様な人材が心身ともに健康に働けるよう経営者が戦略的に投資する「健康経営」の意義が高まっています。「人材こそが企業価値である」という認識の下で健康経営を推進している企業に対する経済産業省による認証制度や、社内の健康増進の取り組みに対する自治体の補助金等も存在します。経営者の皆様におかれましては、産業医が社内不在の場合は外部自治体相談窓口等の活用を推進し、従業員の方の健診受診および健診後に医療機関受診勧奨があった際は、勤務時間内での受診を推奨・許可していただきたいと思っております。経営層からトップダウンでの健康施策を展開するとともに、従業員、ご家族、ご自身の健康に留意いただき、人生 100 年時代を健やかに自分らしく生きることを目指していただきたいです。

## 国際ロータリー第2580地区 2023-24年度地区大会

